

堂谷津の里 自然だより

2018年 9月

2018. 9. 1

今夏は暑い日が多く、熱中症への注意がもう少し続きそうですが夕方になると心地よい風が吹き、秋の訪れを感じます。田んぼは稲刈りが始まり、雑木林や草原では、夏の終わりを告げるヒグラシやツクツクボウシの鳴き声に交じって秋の虫が鳴いています。野菊が揺れる爽やかな秋を待ちわびるこの頃です。



トンボの王様
オニヤンマ



ショウリョウバッタ



オンブバッタ



ヤブキリ



コハネイナゴ



クビキリギス



エンマコオロギ

草原や林の虫



センニンソウ



フジカンゾウ



ヤマホトトギス



イヌショウマ



ツリガネニンジン



オトコエシ



タコノアシ



ツルボ



ハッカ



ミソソバ

<季節メモ>

月を愛でる

秋といえばお月見。月の満ち欠けなどで暦を計算した旧暦では、人々の生活と月は密接につながっていました。特に農作業に従事する人々は満月を豊穡の象徴とし、収穫の感謝を込めて収穫物を月に供えました。すすきと団子、すすきは稲穂に見立て、団子は丸い月に見立て、秋の七草なども飾りました。

今は、十五夜を楽しむ風習は薄れてきましたが、空気が澄んで月が美しく見える時期時代が変わっても月の美しさだけは変わりませんね。

写真・編集：晝間